

平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成 18 年 8 月 10 日

上場会社名 ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社 (JASDAQ・コード番号 : 3390)
(URL <http://www.u-s-systems.com/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 山口 浩行
責任者役職・氏名 取締役管理部長 青木 博之

TEL : (03) 3568 - 1305

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 6 月 30 日)

当社は、平成 17 年 10 月に上場しており、前年第 1 四半期にかかる開示を行っていないため、前年同四半期の実績および増減率の記載を行っておりません。

また、平成 18 年 4 月 1 日をもって、普通株式 1 株につき 3 株の割合で株式分割を行っており、当第 1 四半期末の発行済株式総数は 39,156 株増加し 58,734 株となっております。

(1) 経営成績の進捗状況

(千円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
19年3月期第1四半期	707,897	()	68,227	()	71,070	()	42,561	()
18年3月期第1四半期	()	()	()	()	()	()	()	()
(参考)18年3月期	3,508,033		273,283		227,939		117,158	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	724	65	709	12
18年3月期第1四半期	_____	_____	_____	_____
(参考)18年3月期	6,592	65	6,503	72

(注)期中平均株式数 19年3月期第1四半期 58,734株 18年3月期第1四半期 株 18年3月期 17,771株

[当社の業績特性及び当事業年度の業績の説明]

当社は「社会にとって真に価値あるソリューションを」という経営理念の下、顧客のニーズに対応したソリューションシステムをASP形式で提供するというソリューションシステムアウトソーシング事業を主力事業として展開しております。このソリューションシステムアウトソーシング事業はパッケージソフトウェアの提供と異なり、当社のユニバーサルプラットフォーム上に顧客毎にソリューションシステムを構築いたします。この結果、システムリリースが顧客の事業年度末である3月頃(当社第4四半期)に集中する傾向にあり、当社の売上及び利益は第4四半期に偏重する傾向があります。

当事業年度におきましては、主力のソリューションシステムアウトソーシング事業ならびにeコマース事業は引き続き着実に成果を上げておりますが、当期から新たに当社の技術力とノウハウを結集した「介護ソリューションシステムパッケージ」並びに顧客の重要なデータ資産を守る新概念のデータストレージサービスである「Security Data Box」の開発および商品化を進めてまいりましたため、これらのサービス提供開始に伴う研究開発費用、及び商品化費用が先行し、「売上原価」および「販売費および一般管理費」が増加いたしました。そのため第1四半期の営業利益および経常利益はマイナスとなっております。

なお、中間期におきましては、この傾向が継続するものの、通期におきましては、第2四半期から販売を開始し、順調に展開しております「介護ソリューションシステムパッケージ」と「Security Data Box」の売上が下半期より本格的に見込めることや、第4四半期において現在構築中のソリューションシステムが順次リリースされることから、営業利益および経常利益は当初計画通りの利益水準を確保する見込みです。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

主力のソリューションシステムアウトソーシング事業（ASP事業）におきましては、既存顧客に対するサービス提供は着実に成果を上げており、また、新規受注につきましても順調に推移しており、各々下半期のシステムリリースに向けて構築を進めております。

eコマース事業におきましてもほぼ計画どおりの営業成績で推移いたしました。

また、第2四半期より販売を開始した「介護ソリューションシステムパッケージ」と「Security Data Box」につきましては、研究開発費と商品化費用が上半期に先行いたしますが、順調に開発、商品化が完了し下半期以降本格的に売上、利益に寄与してくる見込みです。

以上の結果、当第1四半期における売上高は707,897千円となり、営業損失は68,227千円、経常損失は71,070千円となりました。

(2) 財政状態の変動状況 (千円未満切捨て)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	千円	千円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	2,303,093	1,607,387	69.8	27,367 24
18年3月期第1四半期				
(参考)18年3月期	2,534,909	1,649,949	65.1	84,275 70

(注)期末発行済株式数 19年3月期第1四半期 58,734株 18年3月期第1四半期 株 18年3月期 19,578株

【キャッシュ・フローの状況】 (千円未満切捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	千円	千円	千円	千円
19年3月期第1四半期	231,454	83,209	19,981	1,020,866
18年3月期第1四半期				
(参考)18年3月期	190,835	515,363	294,997	892,602

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

1. 財政状態

(流動資産)

当第1四半期末における流動資産は、前事業年度末と比べ256,859千円減少し、1,420,502千円となりました。その主な要因は、現預金の増加128,263千円、売上代金回収に伴う売掛金の減少428,197千円および繰延税金資産の増加28,965千円であります。

(固定資産)

当第1四半期末における固定資産は、前事業年度末と比べ25,616千円増加し、874,881千円となりました。その主な要因は、システムの増強によるソフトウェアの増加66,426千円およびソフトウェア仮勘定のソフトウェア勘定への振替による減少27,399千円によるものです。

(流動負債)

当第1四半期末における流動負債は、前事業年度末と比べ185,536千円減少し、462,742千円となりました。その主な要因は、買掛金の減少118,291千円、未払金の増加47,130千円、未払法人税等の減少67,914千円、賞与引当金の減少16,325千円によるものです。

(固定負債)

当第1四半期末における固定負債は、前事業年度末と比べ3,717千円減少し、232,963千円となりました。その主な要因は、長期借入金の減少3,486千円によるものです。

(資本)

当第1四半期末における資本は、前事業年度末と比べ42,561千円減少し、1,607,387千円となりました。その主な要因は、当期純損失42,561千円によるものです。

2. キャッシュ・フロー

当第1四半期におけるキャッシュ・フローについては、営業活動により231,454千円獲得、投資活動により83,209千円使用、財務活動により19,981千円支出し、その結果獲得した資金は128,263千円となり、当第1四半期末残高は1,020,866千円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果獲得した資金は、231,454千円となりました。これは主に税引前四半期純損失の計上70,252千円、減価償却費の計上36,737千円、売上債権の減少428,197千円、仕入債務の減少118,291千円、未払金の増加68,479千円、法人税等の支払額66,785千円などによるものです。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動に使用した資金は、83,209千円となりました。これは主にソフトウェアの取得による支出68,663千円によるものです。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果支出した資金は、19,981千円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出13,486千円、未払金の返済による支出3,139千円、株式発行による支出3,097千円などによるものです。

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	平成18年3月期	平成19年3月期
	期末	第1四半期
自己資本比率(%)	65.1	69.8
債務償還年数(年)	1.5	0.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	31.2	186.9

自己資本比率：自己資本 / 総資産

債務償還年数：有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー / 利払い

キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。有利子負債は(四半期)貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

添付資料

(要約) 四半期貸借対照表

(要約) 四半期損益計算書

(要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

以上

[参 考]

平成 19 年 3 月期の業績予想 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
中 間 期	千円 1,394,114	千円 172,737	千円 102,433
通 期	3,746,451	262,297	155,542

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 2,648 円 24 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

売上業績予想につきまして、e コマース事業において従来は当社にて仕入販売を行っていましたが、この商流を第 2 四半期より相当部分を専門の商社に移管し、売上をシステム利用料収入に切り替えることから、中間期において 1,394,114 千円 (従来予想 1,670,159 千円) 通期において 3,746,451 千円 (従来予想 4,126,049 千円) に修正いたします。ただし、e コマース事業につきましては主力のソリューションシステムアウトソーシング事業の付帯サービスであることから利益率が低く、この変更による利益予想への影響は軽微です。

利益予想につきましては「介護ソリューションシステムパッケージ」と「Security Data Box」の研究開発費用、商品化費用が先行することから中間期において経常損失 172,737 千円 (従来予想 31,264 千円) に修正するものの、通期におきましては下半期より 2 つの新商品の売上が本格的に見込めることや、現在構築中のソリューションシステムが順次リリースされることから、経常利益 262,297 千円 (前期比 + 15.0%) と従来予想 260,269 千円にほぼ変更はありません。

また、2 つの新商品の販売動向につきましては計画を上回る推移を見せておりますが、今後の動向を慎重に見極めた上で、必要であれば速やかに具体的状況についてお知らせいたします。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在における経済動向や市場環境をはじめとした情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

(1) 中間期

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	千円 1,670,159	千円 31,264	千円 11,953
今回修正予想 (B)	1,394,114	172,737	102,433
増減額 (B - A)	276,045	204,001	114,386
増減率 (%)	16.5		

(2) 通期

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	千円 4,126,049	千円 260,269	千円 141,045
今回修正予想 (B)	3,746,451	262,297	155,542
増減額 (B - A)	379,598	2,028	14,497
増減率 (%)	9.2	0.8	10.3

〔添付資料〕

1.(要約)四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年3期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1 現金及び預金	1,020,866				892,602
2 売掛金	282,394				710,591
3 たな卸資産	7,486				
4 前払費用	48,019				47,487
5 繰延税金資産	60,458				31,493
6 未収入金	36,096				32,934
7 その他	7,543				5,433
8 貸倒引当金	42,363				43,181
流動資産合計	1,420,502				1,677,361
固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	11,758				12,191
(2) 構築物	111				115
(3) 工具器具備品	17,943				18,770
有形固定資産合計	29,813				31,078
2 無形固定資産					
(1) 営業権	42,000				48,000
(2) ソフトウェア	447,015				380,588
(3) ソフトウェア仮勘定					27,399
(4) 電話加入権	1,624				1,624
(5) その他	131				137
無形固定資産合計	490,771				457,750
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	250,785				250,785
(2) 従業員長期貸付金	422				422
(3) 長期前払費用	7,155				12,522
(4) 繰延税金資産	2,397				2,838
(5) 敷金・保証金	93,534				93,866
投資その他の資産合計	354,296				360,435
固定資産合計	874,881				849,264
繰延資産					
1 新株発行費	5,410				5,215
2 社債発行費	2,300				3,066
繰延資産合計	7,710				8,282
資産合計	2,303,093				2,534,909

科 目	当四半期 (平成19年3期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年3期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
流動負債					
1 買掛金	234,794				353,086
2 1年内返済予定長期借入金	43,944				53,944
3 未払金	155,093				107,962
4 未払費用	12,136				21,205
5 未払法人税等	1,793				69,708
6 未払消費税等	3,603				16,100
7 預り金	6,464				5,034
8 賞与引当金	4,912				21,238
流動負債合計	462,742				648,278
固定負債					
1 社債	200,000				200,000
2 長期借入金	18,626				22,112
3 退職給付引当金	5,891				6,974
4 その他	8,446				7,594
固定負債合計	232,963				236,681
負債合計	695,706				884,959
(資本の部)					
資本金					915,900
資本剰余金					522,950
利益剰余金					211,099
資本合計					1,649,949
負債及び資本合計					2,534,909
(純資産の部)					
株主資本					
1 資本金	915,900				
2 資本剰余金	522,950				
3 利益剰余金	168,537				
株主資本合計	1,607,387				
純資産合計	1,607,387				
負債、純資産合計	2,303,093				

2 .(要約) 四半期損益計算書

(単位 : 千円、 %)

科 目	当四半期 (平成19年3期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	707,897				3,508,033
売上原価	574,380				2,579,922
売上総利益	133,517				928,111
販売費及び一般 管理費	201,745				654,827
営業利益 (又は営業損失)	68,227				273,283
営業外収益	47				3,667
営業外費用	2,890				49,011
経常利益 (又は経常損失)	71,070				227,939
特別利益	818				25,162
特別損失					40,733
税引前四半期(当 期)純利益 (又は税引前四半 期(当期)純損失)	70,252				212,369
税金費用	27,690				95,211
四半期(当期)純 利益 (又は四半期(当 期)純損失)	42,561				117,158

3.(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	当四半期 (平成19年3期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3期 第1四半期)	(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	70,252		212,369
減価償却費	36,737		131,769
新株発行費償却	885		3,281
社債発行費償却	766		3,066
固定資産売却益			17,442
リース解約損			15,349
固定資産除却損			2,896
固定資産賃貸料			2,620
賃借料			2,620
上場関連費用			33,270
貸倒引当金の増加額(減少額)	818		23,206
賞与引当金の減少額	16,325		4,930
役員退職慰労引当金の減少額			7,720
退職給付引当金の減少額	1,082		599
受取利息及び受取配当金	0		20
支払利息	1,237		6,099
売上債権の減少額(増加額)	428,197		67,492
たな卸資産の減少額(増加額)	7,486		200
仕入債務の減少額	118,291		59,628
未払金の増加額(減少額)	68,479		23,179
その他の資産の減少額	624		11,153
その他の負債の増加額(減少額)	22,878		9,035
小 計	299,792		270,684
利息及び配当金の受取額	0		20
利息の支払額	1,552		6,101
リース解約による支出			2,003
法人税等の支払額	66,785		71,765
営業活動によるキャッシュ・フロー	231,454		190,835

	当四半期 (平成19年3期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3期 第1四半期)	(参考) 平成18年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	359		29,837
固定資産賃貸収入			2,620
賃借料の支払による支出			2,620
投資有価証券の取得による支出			249,600
ソフトウェアの取得による支出	68,663		209,070
ソフトウェアの製作による支出	14,553		27,034
貸付金の回収による収入	34		1,031
敷金・保証金の減少額(増加額)	332		852
投資活動によるキャッシュ・フロー	83,209		515,363
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	13,486		53,944
未払金の返済による支出	3,139		22,090
株式の発行による収入			406,750
株式の発行による支出	3,097		2,705
上場関連の支出	258		33,012
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,981		294,997
現金及び現金同等物の増加額	128,263		29,530
現金及び現金同等物の期首残高	892,602		922,133
現金及び現金同等物の期末残高	1,020,866		892,602